

改善報告書

令和5年7月27日

1. 大学名：江戸川大学

2. 認証評価実施年度：令和3年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2－1

○社会学部経営社会学科について、令和3(2021)年度の収容定員充足率が1.3倍を上回っていることから、入学定員に対する適切な入学者数の管理について改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目2－1について

令和3(2021)年12月21日に日本高等教育評価機構における評価チームより評価報告書案として上記3で示された改善点が指摘された。それに対し、本学としては、令和4(2022)年1月6日の入学センター運営委員会ならびに令和4(2022)年1月12日における大学経営会議において協議を行い、社会学部経営社会学科における令和5(2023)年度生学生募集に関しての入学者選抜においては、合格基準を上げて適切な入学者数の管理に努めることで承認した。

改善する入試区分としては、全選抜における合格基準の底上げを図るが、特に、入学者の占める割合の多い学校推薦型選抜、総合型選抜の二つの入学者選抜について見直すこととした。

具体的方策としては、学校推薦型選抜については、令和4(2022)年5月11日開催の入学センター運営委員会において、本学が受験者に求める要件の成績基準を上げることや推薦枠の縮小を行うことで承認され、その新たな基準のもと、入学者選抜を実施した。総合型選抜においては、学力の3要素を測るそれぞれの採点区分となる合格基準を上げての合否判定を行った。

さらに、より適切な入学者数の管理を目指すべく令和4(2022)年6月に収容定員変更にかかる届出を行い、社会学部経営社会学科に関しては定員120人から130人へと10人増員し、令和5(2023)年度生から新たな定員数を適用することになった。
(なお、同時にメディアコミュニケーション学部こどもコミュニケーション学科の定員は60人から50人へと10人減員している。)

このような施策の結果として、社会学部経営社会学科の令和5(2023)年度の入学者数は136人と定員数に近づく人数となり、入学定員での充足率は1.05倍、令和5(2023)年5月1日現在での収容定員における充足率は1.27倍に推移し、適切な入学者数であると考えられる。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

- ・【2-1-1】 2022. 01. 06 臨時入学センター運営委員会議事録
- ・【2-1-2】 2022. 01. 12 大学経営会議議事録（抜粋）
- ・【2-1-3】 2022. 05. 11 入学センター運営委員会議事録（抜粋）
- ・【2-1-4】 2022. 05. 17 大学経営会議議事録（抜粋）
- ・【2-1-5】 江戸川大学収容定員関係学則変更届出書における基本計画書
- ・【2-1-6】 認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式 2（令和 5 年 5 月 1 日現在・社会学部のみ）